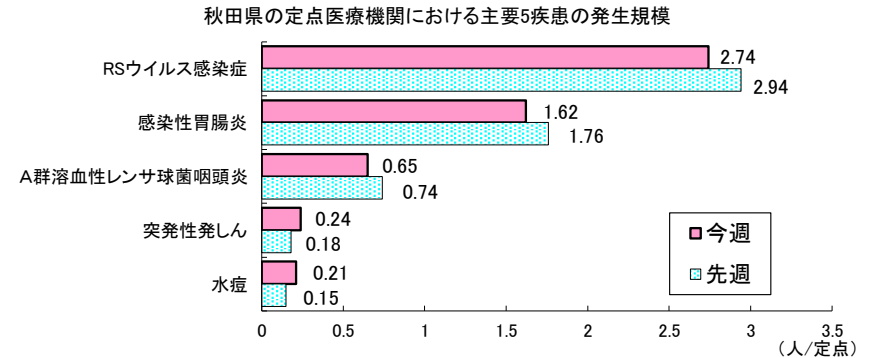




【第21週の発生動向】

<定点把握対象疾患(週報)・前週比>

1. RSウイルス感染症は、県全体で7%減少しています。保健所別では、秋田市、大館、能代、大仙で増加、横手で同規模、秋田中央、由利本荘、湯沢で減少しています。
2. 感染性胃腸炎は、県全体で8%減少しています。保健所別では、北秋田、横手で増加、秋田中央、湯沢で同規模、秋田市、大館、能代、大仙で減少しています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で12%減少しています。保健所別では、大仙、湯沢で増加、能代、秋田中央、横手で同規模、秋田市、大館、北秋田で減少しています。



発生報告

<五類定点対象疾患(週報)>

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減			
RSウイルス感染症	2.94	2.74	↘	6.29	7.29	↗		0.75	↗					0.33	↗	6.50	4.00	↘	4.75	2.50	↘	1.50	2.50	↗	0.33	0.33		1.33	0.33	↘
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.12	0.12		0.14	0.43	↗	0.25	0.25													0.25		↘				0.33		↘	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.74	0.65	↘	0.57	0.43	↘	1.25	0.25	↘	2.50		↘	0.33	0.33		1.00	1.00				1.00	2.00	↗	0.33	0.33		0.33	1.33	↗	
感染性胃腸炎	1.76	1.62	↘	2.57	2.14	↘	1.50	0.75	↘		1.50	↗	3.33	3.00	↘	2.25	2.25				2.25	1.75	↘	2.00	2.33	↗	0.67	0.67		
水痘	0.15	0.21	↗	0.14			0.25		↘					1.67	↗	0.75	0.25	↘		0.25	↗									
手足口病	0.03	0.06	↗																0.50	↗							0.33		↘	
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.18	0.24	↗	0.43	0.14	↘		0.75	↗					0.33	↗				0.75	0.25	↘				0.33	↗		0.33	↗	
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎	0.06		↘																0.50		↘									
川崎病		0.03	↗																						0.33	↗				
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎																*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から2人、秋田中央保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のつつが虫病が能代保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の梅毒が横手保健所管内から1人、報告されました。
- ・新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から10人、秋田中央保健所管内から2人、横手保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

種類	疾患名	(人)		
		1週-20週	21週	
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	5735	23	3
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ			
	細菌性赤痢	4		
	腸管出血性大腸菌感染症	424	8	
腸チフス				
バラチフス				
四類	E型肝炎	223		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	33		
	エキノコックス症	12		
	黄熱			
	オウム病	3		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	2		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	シカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	34		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
ダニ媒介脳炎				
炭疽				

種類	疾患名	(人)		
		1週-20週	21週	
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	96		1
	デング熱			
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	72		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ペネセラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	1		
	マラリア	4		
	野兔病			
	ライム病	5		
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症	406	6		
レプトスピラ症	2			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	193	1	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	77	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	641	7	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	7		
	急性脳炎	120		
	クリプトスポリジウム症	2		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	66		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	247	3	
	後天性免疫不全症候群	366		
	ジアルジア症	16		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	84	1	
	侵襲性髄膜炎菌感染症			
	侵襲性肺炎球菌感染症	554	6	
	水痘(入院例に限る)	105	3	
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	2365	16	1
	播種性クリプトコックス症	52		
	破傷風	29		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	40		
百日咳	232	3		
風しん	6			
麻しん	1			
薬剤耐性アシネトバクター感染症				
* 新型コロナウイルス感染症	593	13		

* 新型コロナウイルス感染症

トピック

<急性脳炎について>

私たちの周りでは、季節等により切り替わりながら様々な感染症が日々流行しています。多くは一過性ですが、まれに重い合併症を起こす場合があります。その1つに急性脳炎が上げられますが、現在、感染症法における五類全数把握疾患に指定されており、全国的にその発生動向が収集されています。

■症状

何らかの先行感染を伴い、38℃以上の高熱に続き、意識障害やけいれん等の中枢神経症状が突然現れ持続します(熱性けいれんや脳血管障害、外傷などの明らかな非感染性の症状は除外)。炎症反応として、髄液中の細胞数が増加している場合に急性脳炎、正常の場合に急性脳症と診断されることが多いですが、臨床症状に大きな差は無い事から、どちらも報告対象となっています。

■原因病原体

2016年～2020年の5年間に、秋田県内で23件の発生報告がありました(図)。原因病原体はインフルエンザウイルスが11件(47.8%)、単純ヘルペスウイルス1型が3件(13.0%)、残り9件(39.1%)は病原体不明でした。

大部分はウイルスが原因と考えられていますが、一般の医療機関ではウイルスを対象とした詳細な病原体検査は困難なため、全国的にも半数前後が病原体不明として報告されており、報告に至っていない症例も少なくないとされています。このようなことから、厚生労働省は正確な実態把握のため、積極的な検査の実施を各自治体に依頼しています。

※早期の診断治療が重要な疾患ですので、上記のような症状が見られた場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。また、急性脳炎と診断した医療機関は、最寄りの保健所への発生届をお願いします。

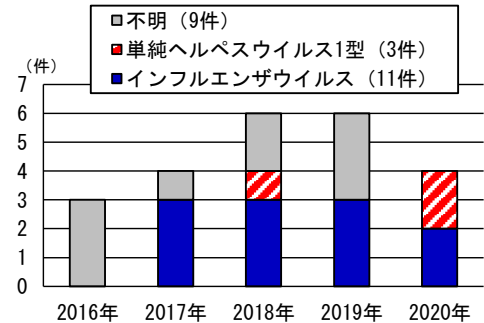


図 秋田県内における急性脳炎報告数 (2016年～2020年)

つつが虫病情報

今年初めてのつつが虫の発生報告がありました。

事例No.	届出日	管轄保健所	年齢	性別	症状	感染要因(推定)
1	5月28日	能代	70代	女性	発熱、発疹、刺し口(右脇腹)	庭仕事

感染症の集団発生報告

RSウイルス感染症の集団発生報告が3件ありました。

所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
			利用者(園児)	職員	計		
秋田市	認定こども園新屋幼稚園・ほいくえん	5/24	124名のうち13名	41名のうち0名	13名	5/17～5/24	発熱、咳
大仙市	すくすくだけっこ園	5/25	136名のうち42名	36名のうち0名	42名	5/13～5/25	発熱、咳
由利本荘市	石脇北保育園	5/26	70名のうち13名	23名のうち0名	13名	5/6～5/26	発熱、咳、鼻水



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
水痘	能代(1.67)	-

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報	警報		対象疾患	注意報	警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		